



## 2024年8月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年7月5日

上場会社名 マニー株式会社

上場取引所

東

コード番号 7730 URL <https://www.mani.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役兼代表執行役社長

(氏名) 齊藤 雅彦

問合せ先責任者 (役職名) 執行役常務CFO

(氏名) 橋本 尚久

TEL 028-667-1811

四半期報告書提出予定日 2024年7月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年8月期第3四半期の連結業績(2023年9月1日～2024年5月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第3四半期	21,610	16.7	6,498	19.7	7,125	23.3	5,082	20.9
2023年8月期第3四半期	18,521	24.9	5,427	19.5	5,778	4.7	4,205	10.9

(注)包括利益 2024年8月期第3四半期 6,641百万円 (44.8%) 2023年8月期第3四半期 4,586百万円 (-22.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
		円 銭	円 銭
2024年8月期第3四半期	51.60		
2023年8月期第3四半期	42.71		

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年8月期第3四半期	58,083	52,839	91.0
2023年8月期	54,977	49,827	90.6

(参考)自己資本 2024年8月期第3四半期 52,839百万円 2023年8月期 49,827百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年8月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年8月期		14.00		21.00	35.00
2024年8月期(予想)		16.00			
				23.00	39.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年8月期の連結業績予想(2023年9月1日～2024年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,500	12.3	8,250	13.9	8,250	3.2	5,900	0.9	59.90

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

詳細は、添付資料P.5「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

#### 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年8月期3Q	106,988,962 株	2023年8月期	106,981,502 株
期末自己株式数	2024年8月期3Q	8,484,546 株	2023年8月期	8,484,510 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年8月期3Q	98,498,193 株	2023年8月期3Q	98,463,075 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入社している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(会計方針の変更) .....	10
(セグメント情報等) .....	11
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2023年9月1日～2024年5月31日）の世界情勢は、ウクライナや中東の地政学問題の長期化を背景に、依然として先行き不透明な状況が続きました。金融環境の面では、欧米諸国でのインフレが継続しているほか、日本ではマイナス金利政策の解除など金融正常化の動きが株式市場や外国為替相場に影響を及ぼしました。実体経済では特に中国景気の減速が懸念されておりますが、インドやASEAN地域の経済成長には引き続き高い期待が寄せられております。当社グループが所属するヘルスケア・医療機器産業は、これら外部環境の影響を受けていける一方、社会の高齢化やIT技術の発展に伴い、高品質な医療への期待が世界的に高まっており、中長期では事業機会の増加と競争環境の激化が予想されております。

このような環境下、当社グループは、「世界一の品質を世界のすみずみへ」という使命を掲げ、当社グループの製品を世界中に提供し、世界の人々の幸福に貢献することを目指しております。当社グループの更なる成長に向けて、2022年8月期より中期経営計画をスタートし、営業・生産・開発の各機能のグローバル化を進めることでビジネスモデルの変革を行い、企業理念実現のための取り組みを着実に進めております。

中期経営計画の重要施策の観点では、グローバル生産体制の構築を目的として、ドイツの連結子会社MANI MEDICAL GERMANY GmbH（以下、MMG）では2023年9月に新本社・工場へ移転し、生産活動を開始しました。MMGは今後、歯科用修復材<sup>1</sup>の生産能力の増強を図り、欧米及びアジアにおける販売拡大を推進してまいります。また、国内では2023年10月よりスマートファクトリーの建設を開始いたしました。今回建設するスマートファクトリーは、新製品の量産技術及び主要既存製品の次世代の自動化生産ラインの確立とその後の海外展開を見据えた最初の「パイロット工場」として位置付けており、製造の省人化や製品の原価低減を図りながらグローバルでの売上拡大を目指しております。特に、開発重点製品であるNiTiロータリーファイル「JIZAI」<sup>2</sup>や白内障手術に用いられる眼科ナイフの量産体制構築に向けた準備を進めています<sup>3</sup>。さらに、既存のベトナム工場を増設し、生産能力増強とBCP強化を図ります。グローバルマーケティングの推進の観点では、デンタル関連製品の更なる市場シェア及び売上拡大のため、2023年9月より新たな組織として「デンタル事業本部」を設置し活動を開始しました。デンタル関連製品セグメントの競争力強化及びマーケティング機能強化を2024年8月期の重要な課題として設定しております。また、新たな拠点としてマレーシアに設立した販売子会社 MANI MEDICAL DEVICE MALAYSIA SDN. BHD. は2023年11月より本格的にマーケティング活動を開始しました。今後東南アジア地域の新興国をターゲットにデンタル関連製品やサージカル関連製品の積極的なマーケティング活動を展開してまいります。さらに、新たな販売子会社をアメリカに設立することを2024年6月26日の取締役会にて決議いたしました。医療先進国での地域密着型営業を推進し、北米市場での事業拡大を進めてまいります。

今後も中期経営計画に基づく成長戦略により、企業価値の向上を目指してまいります。

#### （脚注）

<sup>1</sup>歯の欠損した部分を人工物で埋めることにより歯の形態を回復し、機能性及び審美性を高める治療（歯冠修復治療、審美歯科治療）に使用される樹脂材料

<sup>2</sup>歯の歯髄と呼ばれる神経の治療法の1つである根管治療において、根管内の感染源除去に用いられる柔軟性の高いニッケルチタン製の歯科治療機器

<sup>3</sup>スマートファクトリーへの総投資額は105億円を予定（内訳：工場建設費用84億円、「JIZAI」量産ラインへの投資額11億円、眼科ナイフ量産ラインへの投資額10億円）

### 当第3四半期連結累計期間における経営成績

主にアジア、北米を中心とした地域で販売が増加した他、円安による海外売上高の押し上げも加わったことを背景に、売上高は21,610百万円（前年同期比16.7%増）と好調に推移しました。一方、海外子会社における製造原価の上昇等により売上原価は8,001百万円（同11.2%増）、マーケティング活動の強化に伴う販促費の増加及び本社における人件費の増加により販売費及び一般管理費は7,110百万円（同20.5%増）となりましたが、売上高の拡大が費用増を吸収し、営業利益は6,498百万円（同19.7%増）となりました。営業利益の増益及び為替差益の計上に伴い、経常利益は7,125百万円（同23.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5,082百万円（同20.9%増）となり、前年同期から増益幅が拡大いたしました。

セグメント別の業績概況は、次のとおりです。なお、セグメントの売上高につきましては、外部顧客への売上高を記載しております。

(単位：百万円)

	売上高		セグメント利益（営業利益）	
	百万円	前年同期比	百万円	前年同期比
サーボカル関連製品	6,001	18.9%	1,992	33.7%
アイレス針関連製品	7,830	21.4%	2,982	45.7%
デンタル関連製品	7,778	10.7%	1,523	△19.4%
連結	21,610	16.7%	6,498	19.7%

## (サーボカル関連製品)

サーボカル関連製品の売上高は6,001百万円（前年同期比18.9%増）、セグメント利益は1,992百万円（同33.7%増）となりました。白内障手術で使用される眼科ナイフの売上が中国を中心としたアジア、欧州、北米等の地域で好調に推移したことにより、前年同期から増収増益となりました。

## (アイレス針関連製品)

アイレス針関連製品の売上高は7,830百万円（前年同期比21.4%増）、セグメント利益は2,982百万円（同45.7%増）となりました。製品需要の拡大を背景として、アイレス針の受注が中国を中心としたアジア、北米等の地域で引き続き増加したことにより、前年同期から増収増益となりました。なお、2024年8月期よりセグメント別の販売費及び一般管理費の配分方法を変更しており、当該変更により販売費及び一般管理費は247百万円減少しております。詳細は後述の「補足：セグメント利益の算出方法の変更」をご参照ください。

## (デンタル関連製品)

デンタル関連製品の売上高は7,778百万円（前年同期比10.7%増）、セグメント利益は1,523百万円（同19.4%減）となりました。円安の進行により海外売上高が押し上げられたことに加え、製品別の観点では中国、インドを中心としたアジア地域において歯科用回転切削機器（ダイヤバー）及び歯科用根管治療機器（リーマ・ファイル）等の販売が好調に推移した一方、歯科用修復材を中心とするMMG製品の当第3四半期における販売は低調に推移しました。他方、インドや東南アジアにおける積極的なマーケティング活動に伴う販売費及び一般管理費の増加により、セグメント利益は減益となりました。なお、2024年8月期よりセグメント別の販売費及び一般管理費の配分方法を変更しており、当該変更により販売費及び一般管理費は213百万円増加しております。詳細は後述の「補足：セグメント利益の算出方法の変更」をご参照ください。

## ※ご参考：為替レート

	前連結会計年度（2023年8月期）				当連結会計年度（2024年8月期）			
	第1四半期 連結累計期間	第2四半期 連結累計期間	第3四半期 連結累計期間	第4四半期 連結累計期間	第1四半期 連結累計期間	第2四半期 連結累計期間	第3四半期 連結累計期間	第4四半期 連結累計期間
米ドル/円 (USD/JPY)	144.26	138.50	137.31	138.60	149.10	147.92	149.66	-
ユーロ/円 (EUR/JPY)	143.93	142.94	144.04	146.95	159.30	159.38	161.40	-
人民元/円 (CNY/JPY)	20.22	19.77	19.67	19.69	20.47	20.45	20.68	-
インドルピー/円 (INR/JPY)	1.78	1.70	1.68	1.69	1.79	1.78	1.80	-
マレーシアリンギット/円 (MYR/JPY)	-	-	-	-	30.63	31.35	31.78	-

## 補足：セグメント利益の算出方法の変更

当社グループは、第1四半期連結会計期間の期首よりセグメント利益の算出方法を変更しております。変更の理由及び影響額については下記のとおりです。

## 変更の理由

デンタル関連製品の更なる市場シェア及び売上拡大を2024年8月期の重点施策として掲げており、2023年9月に新たな組織として「デンタル事業本部」を設置し活動を開始しました。これに伴い、デンタル関連製品セグメントで多くの販売費及び一般管理費の負担が発生する実態をより適切に各セグメントの業績に反映する必要が生じたため、セグメント利益の算出方法（セグメント別の販売費及び一般管理費の計算方法）を新たに変更するものです。

## セグメント利益への影響額

(単位：百万円)

	A	B	C	C-A	B-A
	前第3四半期 連結累計期間 (変更前)	前第3四半期 連結累計期間 (変更後)	当第3四半期 連結累計期間 (変更後)	増減額	うち、 影響額
サービスカル関連製品 セグメント利益 (販売費及び一般管理費)	1,490 (1,675)	1,456 (1,709)	1,992 (2,082)	502 (406)	△34 (34)
アイレス針関連製品 セグメント利益 (販売費及び一般管理費)	2,046 (1,849)	2,294 (1,602)	2,982 (2,015)	935 (166)	247 (△247)
デンタル関連製品 セグメント利益 (販売費及び一般管理費)	1,890 (2,374)	1,676 (2,587)	1,523 (3,012)	△366 (637)	△213 (213)
セグメント利益合計 (販売費及び一般管理費合計)	5,427 (5,899)	5,427 (5,899)	6,498 (7,110)	1,070 (1,210)	- (-)

## (2) 財政状態に関する説明

(単位：百万円)

	前連結会計期間末 (2023年8月31日)	当第3四半期連結会計期間末 (2024年5月31日)	増減額
総資産	54,977	58,083	3,106
流動資産	34,994	34,377	△617
固定資産	19,982	23,706	3,723
負債	5,149	5,243	93
純資産	49,827	52,839	3,012

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ3,106百万円増加し、58,083百万円となりました。これは、固定資産3,723百万円の増加（主に当第3四半期連結累計期間に実施したスマートファクトリー関連投資2,981百万円による増加）、流動資産617百万円の減少（主にスマートファクトリー関連の設備投資や配当に伴い現金及び預金が1,210百万円減少した一方、売掛金が337百万円、原材料及び貯蔵品が233百万円増加）によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ93百万円増加し、5,243百万円となりました。これは主に、未払法人税等及び賞与引当金の減少があった一方、流動負債のその他に含まれる未払費用等が増加したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ3,012百万円増加し、52,839百万円となりました。これは主に、円安進行に伴い為替換算調整勘定が増加したほか、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が増加したこと等によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、「(1) 経営成績に関する説明」のとおりです。円安の進行及び高齢化の進展や医療ニーズ増加を背景に、当社グループの当第3四半期連結累計期間における連結業績は前年同期から增收増益と順調に推移しており、当初予想を上回る進捗となっておりますが、今後の為替相場の動向等の不確実性が当社グループに及ぼす影響を鑑み、2023年10月12日の「2023年8月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想を据え置くことといたします。

なお、今後の業績動向に応じて、業績予想に修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流动資産		
現金及び預金	25,427	24,216
受取手形	262	209
売掛金	2,073	2,411
有価証券	—	16
商品及び製品	796	829
仕掛品	3,430	3,523
原材料及び貯蔵品	2,193	2,427
その他	823	756
貸倒引当金	△13	△14
流动資産合計	34,994	34,377
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,393	7,643
機械装置及び運搬具（純額）	4,370	4,644
土地	4,424	4,458
その他（純額）	4,264	4,510
有形固定資産合計	17,453	21,256
無形固定資産		
ソフトウエア	707	670
その他	535	652
無形固定資産合計	1,243	1,322
投資その他の資産		
投資有価証券	332	305
繰延税金資産	631	484
保険積立金	194	195
その他	127	142
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,285	1,127
固定資産合計	19,982	23,706
資産合計	54,977	58,083

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	159	185
未払金	1,047	925
リース債務	41	27
未払法人税等	1,186	841
賞与引当金	798	601
その他	986	1,691
<b>流動負債合計</b>	<b>4,218</b>	<b>4,272</b>
<b>固定負債</b>		
リース債務	17	29
退職給付に係る負債	598	599
資産除去債務	223	249
その他	91	92
<b>固定負債合計</b>	<b>931</b>	<b>971</b>
<b>負債合計</b>	<b>5,149</b>	<b>5,243</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
<b>資本金</b>	<b>1,066</b>	<b>1,073</b>
<b>資本剰余金</b>	<b>1,113</b>	<b>1,121</b>
<b>利益剰余金</b>	<b>45,482</b>	<b>46,920</b>
<b>自己株式</b>	<b>△3,125</b>	<b>△3,125</b>
<b>株主資本合計</b>	<b>44,536</b>	<b>45,989</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
<b>その他有価証券評価差額金</b>	<b>17</b>	<b>11</b>
<b>為替換算調整勘定</b>	<b>5,251</b>	<b>6,811</b>
<b>退職給付に係る調整累計額</b>	<b>21</b>	<b>26</b>
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>5,290</b>	<b>6,849</b>
<b>純資産合計</b>	<b>49,827</b>	<b>52,839</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>54,977</b>	<b>58,083</b>

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)
売上高	18,521	21,610
売上原価	7,193	8,001
売上総利益	11,327	13,608
販売費及び一般管理費	5,899	7,110
営業利益	5,427	6,498
営業外収益		
受取利息	113	140
投資事業組合運用益	1	1
為替差益	233	447
その他	42	68
営業外収益合計	392	658
営業外費用		
支払利息	2	6
シンジケートローン手数料	2	—
未稼働用地関連費用	30	18
その他	5	5
営業外費用合計	41	31
経常利益	5,778	7,125
特別利益		
固定資産売却益	4	3
受取賠償金	60	—
特別利益合計	65	3
特別損失		
固定資産除却損	34	4
訴訟関連費用	0	—
特別損失合計	34	4
税金等調整前四半期純利益	5,808	7,124
法人税、住民税及び事業税	1,607	1,891
法人税等調整額	△4	150
法人税等合計	1,603	2,042
四半期純利益	4,205	5,082
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,205	5,082

## (四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)
四半期純利益	4,205	5,082
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7	△6
為替換算調整勘定	380	1,560
退職給付に係る調整額	7	5
その他の包括利益合計	381	1,559
四半期包括利益	4,586	6,641
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,586	6,641

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2022年9月1日 至 2023年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	サービスカル 関連製品	アイレス針 関連製品	デンタル 関連製品			
売上高						
外部顧客への売上高	5,045	6,451	7,023	18,521	—	18,521
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1	—	1	△1	—
計	5,045	6,452	7,023	18,522	△1	18,521
セグメント利益	1,490	2,046	1,890	5,427	—	5,427

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2023年9月1日 至 2024年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	サービスカル 関連製品	アイレス針 関連製品	デンタル 関連製品			
売上高						
外部顧客への売上高	6,001	7,830	7,778	21,610	—	21,610
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	0	—	0	△0	—
計	6,001	7,830	7,778	21,610	△0	21,610
セグメント利益	1,992	2,982	1,523	6,498	—	6,498

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行ております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメント利益の算出方法の変更)

当社グループは、第1四半期連結会計期間期首よりセグメント利益の算出方法を変更しております。変更の理由及び影響額については、「1. 当四半期決算に関する定性的情報（1）経営成績に関する説明 補足：セグメント利益の算出方法の変更」をご参照ください。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。